「ボーカルイーズ」プロジェクト実現プラン

ボーカルイーズプロジェクトを実現するためには、聴覚障害者や言語障害者団体との連携、イベントやワークショップの開催、オンライン広報活動、政府支援の取得、企業との協業が必要です。

聴覚障害者や言語障害者団体との連携

目的：聴覚障害者や言語障害者団体との連携の目的は、障害者グループが抱える問題やニーズを把握し、それに基づいたボーカルイーズの支援内容の充実やプロジェクトの実現に向けた意見交換を行い、より効果的な支援を提供する。

日程：平日や休日、昼間や夜間など、参加者のスケジュールに合わせる。

参加者：聴覚障害者や言語障害者を中心に、その家族や介護者、関連する専門家や団体など。

場所：障害者福祉施設や公共施設、企業のオフィスなど、場所に応じたアクセシビリティ。

内容：

・ボーカルイーズのデモンストレーションやハンズオン体験/ボーカルイーズの実際の使い方や機能について、参加者に直接体験してもらい、使い方や使い勝手の理解を促す。

・利用者体験談の共有/実際にボーカルイーズを利用している人の体験談を共有し、利用者側の視点からの課題や改善点を考える。

・専門家による講演やシンポジウム/専門家による講演やシンポジウムを開催し、障害者支援に関する情報や最新の技術動向を紹介し、理解を深める。

・グループワークやディスカッション/参加者同士でのグループワークやディスカッションを通じて、相互の意見交換やコミュニケーション能力の向上を図る。

・アンケートなどを用いた参加者の意見収集/参加者からのフィードバックやアンケートを実施し、今後の活動や改善点についての意見を収集し、ボーカルイーズのサービス向上につなげる。

目的：ボーカルイーズプロジェクトを日本国内で実現するために、聴覚障害者や言語障害者団体との連携を図り、支援内容の充実やプロジェクトの実現に向けた意見交換を行う。

実施方法：

1.連絡先の確認/日本国内の聴覚障害者や言語障害者団体の連絡先を調査し、リスト化する。

2.連絡手段の確認/聴覚障害者や言語障害者団体が使用しているコミュニケーション手段（手話、筆談、文字起こしなど）を調査し、適切な連絡手段を選定する。

3.連絡方法の検討/各団体に対して、プロジェクトの説明や協力依頼を行う。連絡方法は、事前に選定した連絡手段を用いて行う。

4.ミーティングの開催/各団体とのミーティングを定期的に開催し、支援内容の充実やプロジェクトの進捗状況について意見交換を行う。

5.団体からのフィードバックの収集/各団体から、支援内容やプロジェクトの改善点などのフィードバックを収集し、改善に反映させる。

6.定期的な報告/連携状況や進捗状況について、定期的に報告書を作成し、関係者に提出する。

7.交流イベントの開催/聴覚障害者や言語障害者団体と交流するためのイベントを開催し、交流を深める。

8.連携の継続/プロジェクトが終了しても、連携を継続することで、より良い支援体制の構築を目指す。

予算：連携に必要な経費は、会場費、交通費、参加者への支給費、プレゼンテーション資料の作成費など様々なものがあり、具体的な予算については、プロジェクトの規模や内容によって異なるため、実際に計画を立ててから算出する必要がある。

イベントやワークショップの開催

目的：聴覚障害者や言語障害者を中心に、ボーカルイーズの利用についての理解を深め、利用者ニーズの把握を行う。

日程：平日や休日、昼間や夜間など、参加者のスケジュールに合わせる。

参加者：聴覚障害者、言語障害者、その家族や支援者、関連する団体や専門家、一般の方々も参加可能

場所：各都道府県のイベントホール

内容：

・ボーカルイーズのデモンストレーション/ボーカルイーズの使い方や機能を、実際にデモンストレーションすることで参加者に理解してもらう。

・利用者体験談の共有/実際にボーカルイーズを利用している人たちから、その効果や使い心地についての体験談を聞くことで、参加者の理解を深める。

・専門家による講演/言語障害や聴覚障害についての専門家が講演を行い、参加者に障害の理解を深める。

・グループワークやディスカッション/参加者同士でグループを作り、共通の課題についてディスカッションを行ったり、アイデアを出し合うことで、参加者の交流を深める。

・アンケートなどを用いた参加者の意見収集/参加者のアンケートやフィードバックを集めることで、今後の改善点や課題を把握する。

手順：

1.障害者福祉施設の利用申請を行う/ボーカルイーズのデモンストレーションを行うために、障害者福祉施設の利用申請を行う。

2.ボーカルイーズのデモンストレーションのための機材を用意する/デモンストレーションに必要な機材を用意し、準備を整える。

3.参加者の募集を、関連する団体や専門家にも呼びかける形で行う/関連する団体や専門家を含め、多くの人々に参加を呼びかける。

4.当日の進行に必要なスタッフを手配する/デモンストレーションの進行に必要なスタッフを手配し、スムーズな運営を目指す。

5.アンケートなどを用いて参加者の意見を収集する/参加者からの意見や感想を収集し、今後の改善点につなげる。

6.次回の開催に向けて、アイデアや改善点をまとめる/今回のデモンストレーションから得られたアイデアや改善点をまとめ、次回の開催に向けて改善を図る。

予算：

イベントやワークショップの開催に必要な予算は、開催場所や機材レンタル、スタッフの給与、参加者への飲食物提供など、様々な要素によって異なります。具体的な予算については、開催するイベントやワークショップの規模や内容、参加者数、期間などに応じて変動します。事前にしっかりと予算を立て、適切な費用配分を行う。

オンライン広報活動

目的：ボーカルイーズのオンライン広報活動を通じて、多くの人にボーカルイーズの存在や利用方法を知ってもらい、利用者を増やすことを目的とする。

日程：オンライン広報活動は常時実施されているものの、特に効果的な日程としては、国内外で障害者支援に関するイベントが開催されるタイミングなどが考えられる。

参加者：オンライン広報活動は誰でも参加可能で、特に聴覚障害者や言語障害者、その家族や支援者、関心のある人々などを対象とする。

場所：オンライン上で行われるため、インターネット環境があればどこでも参加可能。

内容：

SNSを活用した情報発信/Twitter、Facebook、InstagramなどのSNSを活用し、ボーカルイーズの情報を発信します。定期的に投稿することで、ボーカルイーズの認知度を高める。

・Webサイトの更新/ボーカルイーズの公式Webサイトにて、最新情報やユーザーの声を掲載することで、ボーカルイーズに興味を持つ人々が情報を得られるようにする。

・ブログの掲載/ボーカルイーズの公式ブログにて、ボーカルイーズの開発者や利用者のインタビュー、障害者支援に関する情報などを掲載することで、興味を持つ人々がブログを読むことでボーカルイーズを知るきっかけになる。

・メールマガジンの配信/ボーカルイーズの最新情報やイベント情報、ユーザーの声などをまとめたメールマガジンを配信することで、ボーカルイーズに関心を持つ人々に情報を届ける。

・オンライン広告の掲載 /関連するWebサイトやSNS上で、ボーカルイーズの広告を掲載することで、多くの人々にボーカルイーズの存在を知ってもらう。

手順:

1.SNSアカウントの作成/ボーカルイーズの公式アカウントを各SNSに作成する (Twitter, Facebook, Instagram)。

2.コンテンツの作成/ボーカルイーズの機能やサービス内容に関するコンテンツを作成する。例えば、ボーカルイーズの使い方や、聴覚障害者や言語障害者に対する支援内容に関する情報などを作成する。

3.コンテンツの投稿/作成したコンテンツを各SNSに投稿する。投稿には、適切なハッシュタグをつけることで、検索されやすい状態にする。

4.フォロワーの増加/フォロワーを増やすために、他の関連アカウントとの交流や、コンテストやキャンペーンなどを通じて、フォロワーを増やす工夫をする。

5.ユーザーの声の収集/SNS上でユーザーからのフィードバックを収集し、ボーカルイーズのサービス改善や新しい機能追加のための意見交換を行う。

6.定期的な更新/定期的にコンテンツを更新することで、フォロワーの維持やユーザーからのフィードバックを増やす。

予算:

SNSアカウント作成: 無料

コンテンツの作成: 10万円

広告費用: 30万円

フォロワー増加用キャンペーン: 20万円

合計: 60万円

効果評価:

・SNSアカウントのフォロワー数

・投稿のリーチ数・エンゲージメント数

・ユーザーからのフィードバック数

・新規ユーザーの獲得数

政府支援の取得

目的：聴覚障害者や言語障害者支援を積極的に推進している自治体や国の支援を受けることで、ボーカルイーズプロジェクトの実現がスムーズに進むようにすること。

日程：政府支援の取得については、日程を決めることはできません。政府や自治体が行っている支援制度に応募する必要があり、その応募期間や審査日程に合わせて動く必要がある。

参加者：政府や自治体の支援制度に関する担当者、政治家、専門家などが参加します。

場所：政府や自治体が行う支援制度の説明会、公開セミナー、審査委員会の場、オンラインでのWeb会議など。

内容：政府や自治体が行う支援制度に関する情報収集や説明を受け、ボーカルイーズプロジェクトの説明や必要な支援内容を提案する。また、政府や自治体の担当者との面談や交渉を行い、ボーカルイーズプロジェクトが支援対象になるよう働きかける。

手順：

1.支援制度の調査/政府や自治体が提供する支援制度や補助金について情報を収集し、詳細を確認する。

2.対象条件の確認/支援制度や補助金には対象となる団体や個人の条件があるため、それを確認し、自身が対象となるかを確認する。

3.申請手続きの準備/支援を受けるためには申請書類や手続きが必要になるため、それらを調べ、準備をする。

4.事業計画の作成/支援制度や補助金に応募するためには、支援内容や目的に応じたプランや事業計画を作成する。

5.書類の提出/支援制度や補助金に応募するためには、必要な書類や申請書類を提出する。

6.審査選定/提出された書類や申請書類に基づき、審査や選定が行われ、承認される。

7.利用状況・成果の報告/支援を受けるためには、支援の利用方法や報告方法についての指示を受け、適切に利用する必要がある。

8.利用状況・成果の報告

利用状況や成果の適宜報告/支援を受けた後は、支援の利用状況や成果を適宜報告することが求められる。

企業との協業の計画表

目的：企業との協業によって、ボーカルイーズプロジェクトの資金調達や宣伝を行う。

日程：1年間の長期的な協業を予定している。

参加者：ボーカルイーズプロジェクトチームと、協業する企業の関係者。

場所：企業のオフィスやボーカルイーズプロジェクトチームのオフィスなど、場所は相談の上決定する。

内容：

1.資金調達/企業からの資金提供や、プロジェクトの宣伝による資金調達を行う。

2.広報活動/企業の広報チャネルを活用し、プロジェクトの宣伝や周知を行う。

3.人材提供/企業が持つ専門的な知識や人材を活用し、プロジェクトの開発や運営に協力してもらう。

4.製品の提供/企業が開発している製品や技術をボーカルイーズプロジェクトに提供し、プロジェクトの発展に貢献する。

5.その他の協力/企業が持つネットワークや人脈を活用し、プロジェクトの発展に貢献する。

手順：

1.協業企業の選定/音声障害者や言語障害者に対する支援を積極的に行っている企業を選定する。同様の価値観を持ち、協業に意欲的な企業を選定する。

2.提携内容の決定/協業企業との相乗効果を考慮し、プロジェクトのニーズに合わせた提携内容を決定する。資金援助、広告掲載、社会貢献活動としての支援など、複数の提携方法を検討する。

3.提携企業へのアプローチ/提携内容をまとめ、提携企業にアプローチする。プロジェクトのビジョンや目的を説明し、提携企業にメリットがあることをアピールする。

4.提携交渉/提携企業からの返答に基づき、提携内容を詰めていく。相手企業との折衝を行い、条件面や内容を詳細に決定していく。

5.提携契約の締結/提携内容が決定したら、正式な契約書を締結する。契約内容やプロジェクトの進捗状況に応じて、必要に応じて契約の見直しを行う。

6.実行と評価/提携内容を実行し、プロジェクトの進捗状況や成果を共有する。契約期間中は定期的な報告会や評価会を実施し、双方が納得する形で協業を進める。

予算：

政府支援の取得にかかる予算は、具体的な支援内容や申請する補助金・助成金の種類によって異なります。申請書類の作成や提出にかかる書類代や手数料、また審査・評価に必要な費用や利用後の報告書の作成費用などが発生する場合があります。詳細な予算については、申請する支援制度や補助金の情報を確認し、具体的な支援内容に応じて算出する必要があります。